

県本部・活動拠点本部会議（8月21日・朝）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- ・ アセスメントデータの数値分析着手：DWAT としての支援実績やプロセスを明確化・可視化するため、本部（武田先生）が各拠点のデータやアセスメントシートの数値的分析を開始する。本日、八代拠点（トヨタアリーナ）の蓄積ファイルを先行確認し、順次各拠点へ横展開する。
- ・ 医療・感染症支援チームの活動終了と引き継ぎ：T-MAT：8月末で活動終了。アリーナ内診療は終了しており（ドクターは日曜日帰還）、日本赤十字社（日赤熊本）へ事業が引き継がれる。DICT：感染症管理を担当する2隊も8月末で活動を終了する。
- ・ 避難所の統廃合・集約と設営対応：宇城拠点（豊野少年自然の家）：8月24日をもって閉鎖され、旧豊野小学校へ統合。DMAT と同行して要配慮者の確認および新レイアウトの準備を進める。
- ・ 氷川拠点（集約対応）：氷川中学校（8/24 受入開始）および竜北中学校（8/26 受入開始）への集約に向け、本日氷川中学校に設営手伝いとして DWAT から2名を派遣する。
- ・ 週末の地域包括連携体制：宇城地域の包括支援センターは土日が休業となるため、DWAT の派遣も休止。来週からの社会福祉協議会へのスムーズな引き継ぎに向け、本日は事前の状況確認・アセスメントを行う。

■各拠点からの報告 ※特記事項

● 八代地域

- ・ 自宅復帰者への支援、入院予定者への支援、福祉避難所移行の個別案件対応を実施。
- ・ 月末より埼玉・立正大学等の学生チームが八代拠点へ入り、9月中旬まで後方支援、片付け、夏祭りの設営手伝い等を実施。

● 宇城地域

- ・ 松橋東防災拠点センターでの避難所移行調査を実施（明日まで）。夜間帯対応として広島県チームが20時まで勤務。
- ・ 宇土包括支援センター（担当：奥村氏）への後方支援ルートを確立し、電話連絡等で円滑に連携。

● 氷川地域

- ・ 公民館：10時からの拠点化住民説明会に合わせ、午後の入浴設定や説明会不在者のフォローを含めて移行意向を把握。
- ・ 西部小：本日19:30から拠点化説明会を実施。アセスメントとKintone入力を推進。

● 本部

- ・ 発災から約1ヶ月となり「福祉フェーズ」に移行。メディア取材が増加しているため、現場の負担軽減と DWAT の活動認知のバランスを考慮して対応する。

- ・ 本日 11 時に厚生労働省が来訪（八代拠点・相談ブース付近で前田氏が対応）。本日 18 時より熊本県庁 10 階にて県 DWAT 代表者等会議を開催。

■共有事項・確認事項

●マスコミ取材対応と現場の安全管理

- ・ 宇城（松橋東）にて、YouTuber 等の押し掛けによる警察介入トラブルが発生し、現場が非常に過敏になっているため宇城での取材対応は断念する。
- ・ 共同通信社等の取材については、氷川拠点（鏡公民館等）への振り替えを検討・調整する。
- ・ 黒木氏（熊本学園大）宛ての取材依頼に関しても、現場を取りまとめている八代拠点（田口氏等）と連携・調整して対応する。

●支援成果（エビデンス）の蓄積・可視化：

- ・ DWAT の成果をしっかりと残すため、現場の写真撮影や文章による活動記録のまとめを積極的に推進する。

■今後検討が必要な事項

●日中就労者・復帰者への夜間アセスメント環境の整備

- ・ 帰宅が 19～20 時頃になる日中就労避難者への聞き取り・アセスメントの方法。就寝中の避難者に配慮しつつ、パーテーションの設置やスポットクーラーの導入など、適切な相談環境の整備を本部申請含めて検討する。

●「出口支援」に向けたファイルの整理・類型化

- ・ 「自宅復帰」「包括へ引き継ぎ完了」「施設入所」「福祉避難所調整中」など、支援の出口が明確になってきている。現在一体化しているファイルを出口の状況別に仕分け・類型化し、全体像がひと目で把握できる運用ルールを各拠点ごとに検討する。

●今後の DWAT 活動の方向性・配置調整

- ・ 避難所の統廃合や医療チームの撤退フェーズに伴い、県庁での会議も含めて今後の DWAT の支援先および要員の最適配置を再調整していく。